



政策研究会  
清水 宏 議員

### ▼市民からの質問

Q 高齢者の権利擁護について①通称「高齢者虐待防止法」は、いつごろ、何の目的でつくられたのか。②成年後見制度とは、どのような場合に、だれのために用意された制度なのか。

A ①現在、高齢者が家族や施設などから暴力を受けるなどの高齢者虐待が社会問題になっていることに対し、早期発見、早期対応、並びに高齢者を擁護する者の負担軽減を図るため、十八年度から施行されている。②高齢者等の判断能力の不十分な方に対して、不動産や預貯金などの財産管理や介護サービス、施設入所などにおける契約行為等を代理して行う際、家庭裁判所において後見人を選定して、後見人が本人にかわって契約等を行うシステムである。本人の判断能力が十分なうちに、候補者と契約しておく任意後見制度もある。

Q 護岸、高潮対策について①長浜海岸の島原港海岸保全工事で、なぜ自然の景観を壊し風致を乱すような壁を人と海の間構築するのか。②白水川沿いの高潮問題で、

八月二十三日付の島原新聞に住民の不満の言葉の掲載があったが、内容は事実なのか。

A ①十六年から十八年の台風襲来時には、既設護岸の崩壊や、後背地の新田倉庫、NHKの施設、道路等が越波により浸水被害を受け、さらに海水が新田町に流れ込み、住宅や水路の護岸にも被害が及んだ。このような状況下、町内会からの要望もあり、二十年度から県事業の高潮対策として、越波による浸水被害等の軽減や、後背地の安全確保を目的とした海岸の整備を進めていた。②白水川は県管理の河川で、既設護岸が石積みで崩壊の危険があるとの地域住民の要望を受け、補修工事を行ったことである。工事の施工に当たり、関係者と幾度となく現地立ち会いを行い工法等を検討する中で、護岸の高さをできるだけ高くしてほしいとの意見もあったが、高くし過ぎて水がたまり悪影響も想定されることから、関係者と調整し最終的に決定した高さで施工したとのことである。

Q 市民の要望は具体的に取り上げられているか。①島原病院の充実②島原城石垣の除草

A ①常勤体制が整うよう、今後も医師の確保に向け働きかけていきたい。②いろいろな角度から研究してみたい。また、大きな懸案事項にさせていただきたい。



公明党  
永尾 邦忠 議員

### ▼資源ごみ、不燃物の回収について

Q 旧島原市も月二回の収集をできないか。A 以前から月二回収集の要望があっているが、その実現に向け現在検討中である。なお現在、市民の方がいつでも持ち込めるような資源ごみのストックヤードを建設するよう計画を進めている。

Q 貴金属回収ボックスを設置できないか。A 貴重な資源の再利用、有効利用の観点から意義あるものと思っているので、他市の取り組み状況なども調査し、研究したい。

### ▼商店街活性化法について

Q 商店街に子育てや自宅介護の家族を応援する施設を設置できないか。

A 空き店舗を活用した子育て、介護の相談や同じ悩みを持つ方の交流の場としての応援施設を設置する事業があり、実施主体として商店街振興組合、商工会議所、社会福祉法人、NPO法人などがあり、今後、関係機関と協議したい。

### ▼児童・生徒に対する指導について

Q 新型インフルエンザについて①県下及び本市の状況、②国、県の方針と本市の方針、③予防接種の優先順位はどうなっているのか。

A ①県下では確定例が三十名、本市は、確定例と類似症例を合わせて、八月二十八日現在で七十八名となっている。②国や県の対応は、感染拡大を防ぐことから感染予防に重点が移されている。本市も県南保健所、医師会と連携を図りながら対策を講じたい。③厚生労働省において、専門家の諮問委員会の意見を踏まえ、九月中旬に最終決定される予定である。

Q 薬物使用の危険性について①取り組み方法、②条例策定の考えはないのか。

A ①保健体育や道徳など学校教育活動全体を通して指導の充実を図っている。②全国や県の状況を調査し、今後研究したい。

### 【その他の質問項目】

- ◇ジオパークについて
- ◇ゲリラ豪雨について
- ◇子宮頸がん予防ワクチンについて